

かわにし

市議会だより No.233

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

令和3年
2021年
8月

川西市議会
ホームページ



頼光寺の紫陽花（東畦野2丁目）

6月定例会号（7月臨時会）

もくじ

| | |
|-------------------|-----|
| 土地の無償貸付に関する議案など審議 | 2 |
| 常任委員会報告 | 3~6 |
| 6月定例会 | |
| 総務生活常任委員会 | 3 |
| 厚生文教常任委員会 | 4 |
| 建設公企常任委員会 | 5 |
| 7月臨時会 | |
| 厚生文教常任委員会 | 6 |
| 審議結果等一覧・賛否の状況 | 7 |
| 一般質問 | 9 |



市花りんどう

土地の無償貸付に関する議案など審議

加齢性難聴者の補聴器購入及び適切な利用に対する支援など求め意見書提出

令和3年第2回定例市議会は、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」）を受けた緊急事態宣言発出中の6月3日に招集されました。昨年の同時期には、国中がコロナ対策に暗中模索の状態でしたが、5月末からは本市においてもワクチン接種が始まり、少しずつ前に向かって歩みはじめています。

しかしながら、感染拡大が予断を許さない状況であることには変わりありません。今期定例会においても、招集日のほかに会期中にもコロナ関連の補正予算案が急ぎよ提出され、慎重に審議を行いました。

また、今期は公有財産の無償貸付に関する議案に関して特に活発な議論が交わされました。この議案は、現在の市立川西病院南側の市有地約5584平米を、同地に（仮称）川西リハビリテーション病院を整備する医療法人に無償で貸し付けるものです。審査した委員会では、市民の財産を民間病院に無償で貸

し付ける理由や妥当性について各委員が市の考え方をただし、本会議最終日には賛成多数により可決しています。

以上のほか、最終日の6月24日には、「加齢性難聴者の補聴器購入及び適切な利用に対する支援を求める意見書」外1件の意見書を可決し、6月定例会は23日間の会期を終えました。

さらに、閉会後間もない7月8日には、第3回臨時会が1日間の会期で招集され、「市立川西北こども園整備工事請負契約の変更について」審議しました。今回、臨時会を開催して契約変更の議案を審議し可決したわけですが、これによりこども園は予定どおり来年4月に開園できる見込みです。

なお、市が鋭意進めているワクチン接種については、議会として「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会」を立ち上げ、継続して市との情報共有に努めることとしています。（詳しくは6ページへ）

永年勤続表彰

「第97回全国市議会議長会定期総会」において、本市から次の議員が表彰されました。これを受け、6月3日の第2回市議会定例会招集日に、議長から表彰の報告が行われました。

30年表彰

久保 義孝

10年表彰

福西 勝
秋田 修一
岡田 留美
北野 紀子

あいさつ状は

お出しできません

議員から残暑見舞状等（答礼のための自筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

議会の活動状況

5月

13日○議会運営委員会
19日○総務生活常任委員協議会
27日○議会運営委員会
○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会

10日○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会
○第2回市議会定例会（第2日）
11日○第2回市議会定例会（第3日）
15日○総務生活常任委員会
○総務生活常任委員協議会

○飛行場対策周辺整備調査特別委員会
18日○議会運営委員会
22日○第2回市議会定例会（第4日）
○厚生文教常任委員会
25日○第2回市議会定例会（第5日）
○議会運営委員会

30日○議会運営委員会

7月

8日○第3回市議会臨時会（招集日）
○厚生文教常任委員会
26日○議員協議会
27日○広報委員会

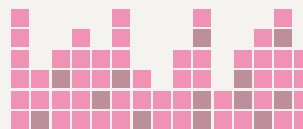
6月

3日○第2回市議会定例会（招集日）
7日○議会運営委員会

16日○厚生文教常任委員会
○厚生文教常任委員協議会
17日○建設公企常任委員会

○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員

(委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎坂口 美佳 ○麻田 寿美
吉富 幸夫 福西 勝 秋田 修一
中井 成郷 吉岡 健次 斯波 康晴

ごみ収集車(2トンダンプトラック)の買入れについて

本案は、美化推進課に配備しているごみ収集車のうち、2トンダンプトラック4台とパッカー車3台が経年等により劣化や損耗が著しいため、2トンダンプトラック7台に買い替えようとするものである。

質問 本案では、来年度からの収集体制の見直しを据えて、現有のパッカー車など、合計7台を全てダンプトラックに買い替えることとされている。

そこで、新車両の納入時期と現車両の下取り時期のほか、パッカー車とトラックでは車両の性質が異なることから、車両を更新した後、収集時の乗車人員数に変更があるのか伺いたい。

生が後退することにならないのか、市の考え方を伺いたい。

答弁

詳細な検討は今後進めていくが、今回の整備はコロナ禍により就労者の在宅勤務や学生の在宅学習が広がりを見せていることを踏まえて行おうとするもので、現時点では市民と職員の共用を想定している。

答弁

今回、これまでの形式の食堂を維持していくことは困難であると判断し、ワーキングスペースへの転用を図るものである。しかし、職員の福利厚生面や来庁者への配慮は今後も必要と認識していることから、例えば配達弁当の食事など、ワーキングスペースにとどまらない活用方法について、公募事業者からの提案も受けながら、より良いスペースとなるよう検討を進めていきたい。



市役所地下1階旧食堂スペース

質問

市は、中小企業支援事業に委託料504万6千円を計上し、兵庫県との協調事業として、4月22日から同24日のまん延防止等重点措置の期間中に、県の営業時間短縮要請に応じた飲食店等へ協力を支給しようとしている。この事業の想定対象事業者数及び直近の同種の事業における申請実績を伺いたい。

答弁

また、これまでの協力金支給について、申請手続き等が円滑に行われているのか状況を伺いたい。

県においては、協力金対象事業者数の見込みを平成28年の経済センサスに基づいて算出しており、本市の飲食店は458件となっている。

これに対し、1月14日から2月7日までの第1期、2月8日から3月7日までの第2期における申請者数はいずれも400件前後となっているが、平成28年以降の飲食店数には増減があると考えられることから、未申請者の実態は把握できていないのが現状である。

なお、手続きに関しては、申請書を取りに来られる際に市役所窓口で相談に応じているほか、商工会においても詳細な説明をしていたりしていることから、スムーズに進んでいるものと認識している。

厚生文教常任委員会

委員

(委員長) ○ ○ (副委員長) ○ ○

◎大矢根秀明 ○北野 紀子

中曽千鶴子 磯部 裕子 西山 博大

田中 麻未 江見 輝男 多久和桂子

津田加代子

川西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、健康保険法等の改正に伴い、医療機関等での受診に際する被保険者の資格確認にマイナンバーカードが追加されたことを受け、同様の内容を規定する条文を削除するほか、新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴う規定を整理するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問

当初、国はプレ運用を経て、本年3月から医療機関や薬局でマイナンバーカードの保険証利用の本格運用開始を目指すとしていたが、これが10月まで延期となった理由や、本格運用の遅れに伴い、市民に混乱が生じることが想定されることから、市の対応を伺いたい。

答弁

プレ運用の過程で加入者データの不備等によるエラーなどが発生し、プレ運用の期間が延長されたため本格運用の開始が遅れている。その対応としては、厚

労省がマイナンバーカードが使用可能な医療機関の一覧を公表しているほか、医療機関においてもポスターを掲示すると聞き及んでいることから、これにより市としても注意喚起が周知できるものと考えている。

川西市青少年センター設置条例を廃止する条例の制定について

本案は、教育委員会事務局の組織再編に伴い、川西市青少年センター及び川西市教育支援センターを廃止するため、両施設の設置条例を廃止しようとするものである。

質問

新たに設置する「子ども若者相談センター」の場所を、これまで教育支援センターがあったパルティ川西ではなくキセラ川西プラザとした理由を伺いたい。

答弁

今回、キセラ川西プラザに設置しようとする理由は2点あり、1点目は、同プラザ内にある「子ども若者ステーション」は、平成30年の開設以降、子どもや若者関係の困り事は取り急ぎ何でも相談できるよう広く市民に周知しており、今回の再編で相談業務をさらに充実させるのであれば、同プラザ内に設置するのが市民にとってわかりやすく、拠点として望ましいと考えたためである。

めである。

2点目は、プラザには県の児童相談所（川西子ども家庭センター）と社会福祉協議会が設置されており、引きこもりや地域市民との連携など、各組織との密な連絡調整が可能となるメリットがあるためである。

賛成意見

市は、すでに事務分掌規則により、新たな体制で運用しており、両センター廃止議案の提出時期に違和感があるが、事務が多岐にわたっていることから、人員確保も含めて適切に取り組みれるよう要望し、賛成する。

令和3年度川西市一般会計補正予算(第3回)へ分割付託

質問

2686万8千円を追加し、医療従事者へ食品等を贈呈する事業は、医療従事者へ感謝の気持ちを伝えるとともに、食品ロス削減といった社会問題の解決も目的とされている。この目的を達成するためには、さまざまな手法が考えられるが、今回、この事業を採択した経緯を伺いたい。

答弁

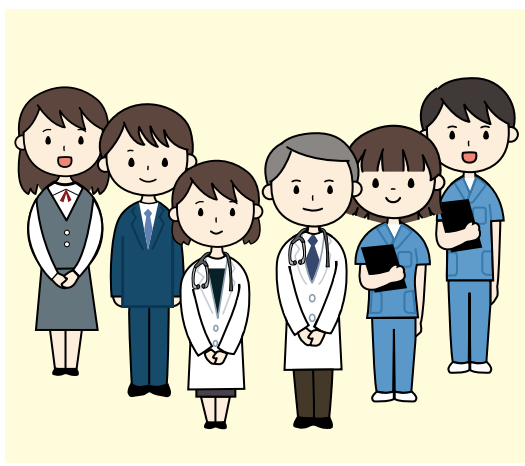
また、この事業により市内事業者も併せて支援する仕組みを構築する考えはなかったのか伺いたい。
市として医療従事者への支援を検討してきたが、現在は、既存の事業を継続しながらコ

ナ対策を最優先に実施しているため、市職員により対応することが困難な状況となっている。

そういった中で、市のホームページで民間企業との連携に関する公募を見た事業者から、食品ロス削減に係る事業を通じた協力に関する提案があり、市で検討したところ、事業に伴う事務の大部分を同社で代行することが可能であったので、市職員の負担を最小限に抑えながら医療従事者への支援ができる内容と判断し、今回の事業を採用したものである。

答弁

現段階で市内事業者は参画していないが、扱える商品等について連携事業者と協議しながら、市内事業者の参画が可能となるよう検討していきたい。



建設公企常任委員会

委員 委員長 〇〇 副委員長 〇〇

◎松隈 紀文 〇谷 正充
大崎 淳正 山下 隆志 岡 留美
黒田 美智 平岡 謙 小山 敏明
久保 義孝

財産の無償貸付について

令和3年度川西市病院事業会計補正

予算(第1回)

東畦野5丁目地内の土地5583.9平方メートルを、医療法人晴風園に無償貸付するに当たり議会の議決を求めるとともに、病院事業会計では、その無償貸付に伴う予算の補正及び重要な資産の処分を行おうとするもの。

なお、無償貸付の期間は、令和14年3月31日までとし、同法人が「地域医療連携推進法人 川西・猪名川地域ヘルスケアネットワーク」に参加し、その土地を「(仮称)川西リハビリテーション病院」用地として使用することで契約期間を更新することができるとある。

質問 この土地は、都市部と違って民間病院が自力で取得して進出するような土地ではないということが本案の前提条件であることは認識している。しかし、仮に積算した場合の賃借料が年間約

1100万円であることを考慮すると、市民にとって無償で貸付するに見合うだけのメリットがあるのか市の見解を伺いたい。

答弁 昨今は病院の利益率が非常に低くなっていることに加え、コロナ禍により病院経営はリスクが高い状況となっている。

このような中で、急性期病院である市立川西病院でさえ経営が困難であった場所で、地域包括ケア病床を含む回復期病床など160床が確保でき、外来診療も提供されるというたことを踏まえると、無償貸付に見合うだけのメリットがあるものと考えている。

質問 土地を無償で貸し付ける以上、市が相手方に求める政策が実行されているかを確認する仕組みが必要であると考えますが、市の見解を伺いたい。

答弁 土地の無償貸付による病院誘致については、北部地域の住民と協議を進めてきた経緯もあり、小児科や応急診療といった政策医療の分野に対しては市も経費を負担することとなっている。

今回の貸付は、晴風園が地域医療連携推進法人に参加することが契約更新の条件の一つであり、同法人には市も参加することから、今後は地

域代表を含む評議会の中で慎重な協議を行っていききたい。

反対意見 近年、市有地は公共性や公益性がある施設でも有償貸付の方向性となっているが、この土地に限って無償とするのは公平性に欠ける。また、建設されるのは回復期病院で市立川西病院とは性質が異なり、この土地が土地区画整理事業により地域住民協力のもとで成り立ってきた経過からも、将来に禍根を残すこととなるため、反対する。

反対意見 公共性がある病院とはいえ、民間法人への無償貸付は実質的な補助金となると考えられ、慎重に扱うべきであり、貸付期間の更新にも費用負担がないという判断に疑問を抱かざるを得ず、反対する。

賛成意見 この地域では在宅療養や在宅介護が増加傾向にあるため、回復期病床のある医療施設ができることは心強く、地域医療連携推進法人が住民の地域医療に対する不安の解消に尽力されることも確認できたので、賛成する。

賛成意見 採算性の厳しい立地において、民間医療法人が地域医療を守るために病院整備を判断されたため、真に地域医療に資する存在となるよう期待し、賛成する。

令和3年度川西市一般会計補正予算

(第3回) 〆分割付託

質問 官民連携により空き家調査アプリの実証実験を行い、その結果を踏まえて今回290万6千円の経費を計上し、さらに同アプリを活用して空き家調査を推進していくとのことであるが、詳細について伺いたい。

答弁 市では、空き家等対策計画の改定に向けて、空き家調査を効率的に行うとともに、その調査結果を有効に活用できるデータベースとして集約することとしている。

調査は、ニュータウンの多い中、北部から開始し、秋以降には南部を調査する予定である。今後は、日々の苦情対応にアプリを活用するとともに、地域住民と課題を共有し、空き家問題の課題解決に向けた対策を講じていきたい。



地域医療連携推進法人

地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定する制度。「川西・猪名川地域ヘルスケアネットワーク」は令和3年4月1日認可、川西市、猪名川町、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会のほか、協和会、晴風園など複数の医療法人が参加。

厚生文教常任委員会

市立川西北こども園整備工事請負契約の変更について

本案は、令和2年第7回市議会(定例会)において契約締結の議決を得た市立川西北こども園整備工事請負契約について、工事内容を変更すべき状況が判明し、契約金額を5億9290万円から1474万円増額する変更契約を締結する必要が生じたため、議会の議決を得ようとするものである。

質問 今回の変更は、旧園舎の基礎くいの間隔が図面と違っていたほか、傾いていることが確認されたため、追加工事が必要となり、契約を変更しようとするものだが、その詳細について伺いたい。

答弁 この園舎は、約50年前に整備されたもので、図面以外に記録が残っており、当時の施工状況の詳細を確認することができないため、くいの間隔が違っている理由

は不明である。しかし、本数が足りないわけではないので、市としては構造上の欠陥があったとは認識していない。

また、くいが斜めになっていることについては、26年前の阪神・淡路大震災による影響も考えられるが、建物に対しては定期的に法定点検を実施し、構造に重大な欠陥がないことが確認できており、使用に支障は生じていない。

質問 今回の工事で9メートルのくいを49本撤去するとのことであるが、地下水や地盤といった面での周辺への影響のほか、新たに建てる建築物への影響を市としてどのように考えているのか。

答弁 くいを抜いた部分は、全て専用の材料を使用して固めて埋め戻すため周辺への影響はなく、また、新たに建築する建物の基礎は、下部をラップルコンクリートで補強することから問題ないと考えている。

『川西市議会新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会』 を新たに設置しました

市では、新型コロナワクチンについて接種を希望される人全員が接種できる体制を整えて懸命に取り組んでいます。予約開始当初は電話が繋がらないなど、市民の皆さんに大変なご心配をおかけしました。

市議会や各議員に対しても不安の声が多数寄せられましたが、ワクチン接種の業務自体は市当局で実施するため、市議会がワクチン接種に関して具体的に行動できることは限られており、「市議会としてできること」について内部で検討した結果、ワクチン接種の体制整備に追われる市と市議会との情報共有が十分でなかった点を踏まえて、「情報共有の場」を設けるために標記の委員会を立ち上げることとしました。

委員会を設置して以降、事業の節目で市当局から説明を受けるとともに、市民の皆さまからいただいたご意見等を市当局に伝えるなど情報共有を図っています。今後もワクチン接種がスムーズに進むよう、議会として市の取り組みを着実に確認することに努めます。

委員 (9人)

委員長：平岡譲 (議長) 副委員長：多久和桂子 (副議長)

委員：秋田修一、中井成郷、大矢根秀明、小山敏明、北野紀子、津田加代子、久保義孝



ラップルコンクリート

ラップルコンクリートとは、建物の基礎を設置しても沈下の恐れがある場所で、基礎下から支持地盤まで設ける無筋コンクリート。

審議結果等一覧

第2回川西市議会(6月定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

| 議案番号 | 議案名 | 内 容 | 審議結果等 | 付託委員会 |
|-----------------|--|---|----------------|----------------------|
| 報告第2号 | 令和2年度川西市一般会計予算の継続費繰越しについて | 芸術文化施設維持管理事業、認定こども園整備事業 | 報 告 | - |
| 報告第3号 | 令和2年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越しについて | スポーツ施設管理運営事業 ほか79件 | // | - |
| 報告第4号 | 令和2年度川西市一般会計予算の事故繰越しについて | 水道事業会計支援事業、歩道整備事業、空港周辺地域整備事業 | // | - |
| 報告第5号 | 令和2年度川西市介護保険事業特別会計予算の繰越明許費繰越しについて | 介護保険総務管理事業、任意事業、包括的支援事業 | // | - |
| 報告第6号 | 令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の繰越明許費繰越しについて | 道路用地先行取得事業 | // | - |
| 報告第7号 | 令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の事故繰越しについて | 道路用地先行取得事業 | // | - |
| 報告第8号 | 令和2年度川西市水道事業会計予算の継続費繰越しについて | 水道基幹施設再構築耐震化事業 | // | - |
| 報告第9号 | 令和2年度川西市水道事業会計予算の営業費用の繰越しについて | 取水場跡地安全柵修繕工事 | // | - |
| 報告第10号 | 令和2年度川西市下水道事業会計予算の建設改良費及び営業費用の繰越しについて | 建設改良費の管渠築造等工事 ほか2件 | // | - |
| 報告第11号 | 専決報告について 専決第2号 川西市税条例等の一部を改正する条例の制定について | 市民税の給与所得者の扶養親族申告書について、電子提出に係る税務署長の承認の廃止等の改正を行う ほか | 承 認 (全員賛成) | - |
| 報告第12号 | 専決報告について 専決第3号 令和3年度川西市一般会計補正予算(第1回) | 新型コロナウイルス感染症対策のうち、早期に対応が必要となった子育て世帯生活支援特別給付金の支給に要する経費に加え、飲食店等の営業時間短縮要請に係る新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業に要する経費を追加 | // | - |
| 報告第13号 | 専決報告について 専決第4号 令和3年度川西市一般会計補正予算(第2回) | 新型コロナウイルス感染症対策のうち、早期に対応が必要となった低所得の子育て世帯に対する「子育て世帯生活支援特別給付金」の支給に要する経費を追加 | // | - |
| 同意案第2号 | 公平委員会委員の選任について | 公平委員会委員の任期満了に伴い、大西紀行氏を選任する | 同 意 (全員賛成) | - |
| 同意案第3号 ～第18号 | 農業委員会委員の任命について | 農業委員会委員に佐藤根雄治氏、庄田徳男氏、横田裕久氏、穴口英夫氏、今井芳昭氏、上田鶴子氏、清田耕一氏、金南正美氏、小坂克典氏、阪上善一氏、櫻井榮造氏、田中正仁氏、西田佐智夫氏、野原孝氏、福本昭夫氏、三宅保夫氏を任命する | // | - |
| 諮問第1号 ～第3号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、長野玲子氏、河島誠氏、井口宏一氏を推薦する | // | - |
| 議案第34号 | ごみ収集車(2トンダンプトラック)の買入れについて | ごみ収集車(2トンダンプトラック)7台の経年劣化が著しいことなどから、3051万1470円で買入れる | 原案可決 (全員賛成) | 総務生活 |
| 議案第35号 | 財産の無償貸付について | 本市の公有財産(東畦野5丁目210番外17筆の土地)を無償貸付する | 原案可決 (賛成多数) | 建設公企 |
| 議案第36号 | 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 新規採用職員の宣誓書への署名捺印を不要とする | 原案可決 (全員賛成) | 総務生活 |
| 議案第37号 | 川西市税条例の一部を改正する条例の制定について | 国外居住親族の取り扱いの見直しに伴い、非課税の範囲を改正する ほか | // | // |
| 議案第38号 | 川西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | 法律の改正に伴い、医療機関等での受診に際する被保険者の資格確認にマイナンバーカードによる電子資格確認が追加されたことを受け、本条例における同様の規定を削除するとともに、新型コロナウイルス感染症の定義に係る規定を整理する | // | 厚生文教 |
| 議案第39号 | 川西市青少年センター設置条例を廃止する条例の制定について | 教育委員会事務局の組織再編に伴い、川西市青少年センターを廃止する | // | // |
| 議案第40号 | 川西市教育支援センター設置条例を廃止する条例の制定について | 教育委員会事務局の組織再編に伴い、川西市教育支援センターを廃止する | // | // |
| 議案第41号 | 川西市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について | 川西北幼稚園と川西北保育所を統合し、幼保連携型認定こども園として、新たに川西北こども園を設置する | 原案可決 (賛成多数) | // |
| 議案第42号 | 令和3年度川西市一般会計補正予算(第3回) | 歳入歳出予算の総額に2億505万1000円を追加、歳入歳出予算の総額は567億6945万8000円 | 原案可決 (全員賛成) | 総務生活 厚生文教 建設公企 |
| 議案第43号 | 令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回) | 新型コロナウイルス感染症に感染、または発熱症状等により仕事を休んだ被用者に支給する傷病手当金に係る経費を追加 | // | 厚生文教 |

| 議案番号 | 議案名 | 内 容 | 審議結果等 | 付託委員会 |
|------------|---|---|----------------|-------|
| 議案第44号 | 令和3年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回) | 第8期介護保険事業計画策定に伴い介護保険料の改定を行ったため、歳入歳出予算の総額に6487万2000円を追加、歳入歳出予算の総額は141億1921万9000円 | 原案可決 (賛成多数) | 厚生文教 |
| 議案第45号 | 令和3年度川西市病院事業会計補正予算(第1回) | 収益的収支の病院事業費用に特別損失1億5172万6000円を追加するとともに、東畦野5丁目210番 外13筆の土地を一般会計に移管する | 〃 | 建設公企 |
| 議案第46号 | 川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定に伴い、個人番号カードの発行主体が地方公共団体情報システム機構に明確化されるとともに、カードの発行に係る手数料の徴収も同機構ができることとされたため、この再交付に係る手数料の規定を市で定める必要がなくなったことから、条例の一部を改正する | 原案可決 (全員賛成) | 総務生活 |
| 議案第47号 | 市立加茂小学校南校舎棟大規模改造工事請負契約の締結について | 市立加茂小学校の南校舎棟において大規模改造工事を実施するため、工事請負契約を3億4745万6606円で締結する | 〃 | 厚生文教 |
| 議案第48号 | 市立清和台中学校北校舎棟大規模改造工事請負契約の締結について | 市立清和台中学校の北校舎棟において大規模改造工事を実施するため、工事請負契約を3億5750万円で締結する | 〃 | 〃 |
| 議案第49号 | 市立川西小学校屋内運動場棟大規模改造工事請負契約の締結について | 市立川西小学校の屋内運動場棟において大規模改造工事を実施するため、工事請負契約を1億5727万8000円で締結する | 〃 | 〃 |
| 議案第50号 | 令和3年度川西市一般会計補正予算(第4回) | 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給に要する費用のため、歳入歳出予算の総額に8140万9000円を追加、歳入歳出予算の総額は568億5086万7000円 | 〃 | 〃 |
| 意見書案第1号 | 加齢性難聴者の補聴器購入及び適切な利用に対する支援を求める意見書 | 国に対して、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するとともに、専門技能者の養成や販売員の資質向上など、補聴器の適切な利用のための環境整備に努めることを強く求める | 〃 | - |
| 意見書案第2号 | 小・中学校におけるさらなる少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書 | 国に対して、令和4年度の予算を編成するに当たり、中学校での35人学級の早急な実現と小学校におけるさらなる少人数学級の推進、教職員定数改善の着実な推進のほか、義務教育費国庫負担制度の堅持を強く要望する | 原案可決 (賛成多数) | - |
| 請願第1号 | 「小・中学校におけるさらなる少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書 | 〃 | 採 択 | - |
| 委員会提出議案第3号 | 川西市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について | 会議欠席事由を明文化するため、第2条第1項中「その他正当な事由」を「、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」に改める ほか | 原案可決 (全員賛成) | - |

第3回川西市議会(7月臨時会)

| 議案番号 | 議案名 | 内 容 | 審議結果等 | 付託委員会 |
|--------|--------------------------|-----------------------------|----------------|-------|
| 議案第51号 | 市立川西北こども園整備工事請負契約の変更について | 契約金額を5億9290万円から6億764万円に変更する | 原案可決 (全員賛成) | 厚生文教 |

賛否の状況

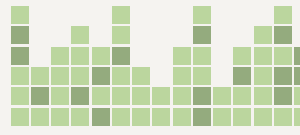
※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：× 欠席：-

| 議案名 | 市民クラブ “改革の風” | | | | 川西まほろば会 | | | | | 公明党 | | | | 明日のかわにし | | | | 日本共産党議員団 | | | 無所属 | | | | | |
|---------|--------------|------|------|-----|---------|-----|------|------|------|------|-------|------|------|---------|------|------|------|----------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 岡留美 | 福西勝郷 | 中井成郷 | 谷正充 | 津田加代子 | 西山博 | 松隈紀文 | 磯部裕子 | 秋田修一 | 久保義孝 | 大矢根秀明 | 大崎淳正 | 麻田寿美 | 平岡謙 | 江見輝男 | 小山敏明 | 田中麻未 | 坂口美佳 | 多久和桂子 | 北野紀子 | 吉岡健次 | 黒田美智夫 | 吉富幸夫 | 中曾千鶴子 | 山下隆志 | 斯波康晴 |
| 議案第35号 | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | - | ○ | × | × |
| 議案第41号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | - | ○ | ○ | ○ |
| 議案第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | - | ○ | ○ | ○ |
| 議案第45号 | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | - | ○ | × | × |
| 意見書案第2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | × | ○ | ○ |

※地方自治法の規定により、平岡謙議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

一般質問



福祉

生理用品サポート事業の詳細聞く

公明党 麻田 寿美

質問 経済的な理由等により生理用品が入手困難となる「生理の貧困」については、コロナ禍を機に問題が表面化してきた。本市では対策として生理用品サポート事業を実施しているが、詳細を伺いたい。

また、学校においてはトイレに常備しておくのが望ましいと考えるが、現在の取り組みについて伺いたい。

答弁 本事業は、地域福祉課の窓口にあるピンク色のカードを示すと

生理用品を受け取れる仕組みとして本年4月から行っている。さらに窓口を拡充するため、5月から各公民館、社会福祉協議会でも配布している。

また、生活困窮者には声を上げにくい人もいることから、困窮相談に関するチラシも併せて配布しており、本事業を相談につなげる一つのツールとして活用す

ることで、市と関係機関が連携を図りながら、課題解決に向けた支援を行う考えである。

答弁 高校を含む市内公立校では、児童・生徒自身が悩みを相談できる

機関の案内と合わせて、生理用品配布を案内する名刺サイズのカードで周知しており、6月から職員室や保健室で生理用品を配布している。

また、配布の際には教員や養護教諭が児童・生徒に声をかけ、必要に応じて相談機関等につなげるなどの支援に努めている。

その他の質問項目

○留守家庭児童育成クラブについて

ほか

医療

病床削減に向けた地域医療構想の撤回を要請せよ

日本共産党議員団 北野 紀子

質問 コロナ禍で病床の不足が問題となり、拡充・強化が求められる医

療体制について、病床削減や病院統廃合によって縮小していく法律が国会で成立した。都道府県が策定する地域医療構想も、今回のようなパンデミックを想定せず、国の方針に従って高度急性期・急性期を中心に病床を削減する内容となっている。

住民が安心して必要な医療を受けるには、十分な病床の確保など、地域医療体制の抜本的な見直しが必要不可欠と考えるが、病床削減を目的とする地域医療構想の撤回を市として国や県へ要請する考えはないか。

答弁

都道府県は法令に基づき地域医療構想を策定し、従来の病院完結型医療から地域完結型医療への転換を図ることとされている。兵庫県の構想においても、病床機能の分担・連携を一体的に推進する区域や、機能区分ごとの将来の必要病床数などが示されており、その内容については、圏域ごとの地域医療構想調整会議等で議論が十分になされ、各地域の諸事情も考慮されるものと認識している。団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降に向けては、現状と課題を踏まえた構想は必要と認識しているため、国や県に撤回を求める考えはない。

なお、パンデミックについては、地域医療構想を包含している保健医療計画において、中間見直しを踏まえて次期改正

に反映されるものと考えている。

スポーツ

モルックが手軽にできる環境整備を

市民クラブ、改革の風、福西 勝



モルック

質問 モルックはフィンランド発祥の安全に楽しめるスポーツであり、

今後、全国的に競技人口の増加が予想され、本市をモルックの聖地にしていきたいと考えている。

現在、川西能勢口駅東側の藤ノ木さんかく広場では道具の貸し出しが行われており、また先の成人式では、川西能勢口駅北側のデッキで体験会が実施されている。さらには、飲食店等にモルック棒を持参すると割引される「モル割」も行われている。

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

モルックへの関心が高まりつつある中で、市として、手軽にモルックができる環境整備を図っていく必要があると考えられているか。

また、モルックの道具を市で購入し、公共施設等で貸し出す可能性について伺いたい。

答弁

現在市内では、満願寺町をはじめ、藤ノ木さんかく広場やキセラ川西せせらぎ公園において、任意団体等による道具の貸し出しや個人での練習会を開催するなど、気軽に体験できる機会が増えつつあり、市としても市民がさらにモルックに親しめる環境づくりを検討していきたいと考えている。

モルックは、道具がそれほど高額なものではなく、普及しやすい要素を持つものと認識しており、今後道具の購入を検討するなど、可能な範囲で取り組んでいく考えである。

その他の質問項目

○川西市の教育について

ほか

人権

「インターネット上の誹謗中傷」被害者支援条例を

明日のかわにし 坂口 美佳

質問

インターネットの普及により、SNS等で誰もが簡単に発信者

となれるようになった一方で、匿名で他人の名誉や感情を傷つける誹謗中傷などの問題が深刻化している。

市は、行政の役割として被害者・加害者の発生防止や被害者支援に努めなければならぬと考えていることから、他市と同様に、これらに関する条例を制定する考えはないか。

答弁

インターネット上の誹謗中傷等が自殺や犯罪の原因となる事案が報道されていることから、行政として、これらの未然防止に努める必要性は認識している。

このため、本市では、平成30年10月から「川西市」と差別にあたる具体的な言葉により、インターネット上で検索するモニタリングを月1回実施しているが、それだけでは市域内での加害・被害を特定するのは難しく、対応には限界があるのが実情である。



また、条例を制定している自治体の例を確認すると、罰則規定がなく、相談体制の整備や住民への啓発が内容の中心となっている。市としては、条例により直接的に誹謗中傷等を抑止することは困難

であると考え、第一義的にはインターネット上の情報を正しく理解する能力の向上に向けた啓発を推進すべきとの認識であり、今後、国の動向も注視しながら、これらの施策を充実させていきたいと考えている。

教育

「中学校給食」さらなる食育推進を考えよ

川西まほろば会 磯部 裕子

質問

来年9月には給食センターが開設され中学校給食が始まるが、中学生自らがメニューを作る機会を設けるなど、これを機により実践的な食育を推進する考えはないか。

また、中学校給食で旬産旬消・地産地消を意識づける取り組みとして、生産者の協力も得ながら、保護者や生徒が食材を生産する農業体験をさせる取り組みはできないか、市の見解を伺いたい。

答弁

思春期の中学生にとっては、今後の成長と食生活の関係を考え、望ましい食習慣のために自ら判断して行

動できるようにすることは重要であり、食の選択が食品ロスの減少など、持続可能な社会の実現につながるといった気づきとなるものとしていきたいと考えている。

答弁

子どもたちの農業体験を大きなプロジェクトとしてどこまで行えるのかは現時点では判断できないが、例えば農作物が学校給食として提供されていることを田んぼや畑に表示する仕組みなど、小さな取り組みから検討していきたい。

こうした取り組みには生産者の協力が欠かせないが、先日面談の機会があった農業団体は、中学校給食に対する関心と前向きな姿勢を示されており、市としても、一歩ずつ前へ進めていく考えである。

その他の質問項目

○中学校での食育を推進するための環境整備について

ほか

環境保全

再生可能エネルギー促進に対する市の考えは

日本共産党議員団 吉岡 健次

質問

地球温暖化対策への早急な対応が必要となる中で、持続可能な開発目標（SDGs）では、再生可能エネルギーへの転換と安定化が求められてお

り、国においても、2050年までの脱炭素社会の実現を掲げ、これに取り組む方針が示されている。

しかし、原発再稼働や、東日本大震災による原発事故の課題が今も続いており、再生可能エネルギー促進が急務と考えることから、本市の施策における考え方を伺いたい。

答弁

国は、カーボンニュートラル達成に向けて、2030年度に電源構成の22%から24%を再生可能エネルギーとすることを表明しているもの、太陽光発電では、パネルの設置に伴う森林伐採や光害問題、風力発電では騒音問題をはじめとして、自然環境や住環境に及ぼす影響が各地で取り上げられている。このため、本市では、これらの課題を踏まえながら、本市に合った再生可能エネルギーのあり方について研究が必要であると考えている。

なお、本市の取り組みは環境基本計画を柱としており、出前講座等において、地球温暖化や脱炭素の普及啓発に努めている。また、次期計画改定に向けて、本市の地域特性などを踏まえて再生可能エネルギー導入について議論していききたい。

その他の質問項目

○新型コロナウイルス接種について
ほか

教育

学びの場「夜間中学」の周知を

市民クラブ、改革の風、津田 加代子

質問

戦後の混乱に翻弄された義務教育未修了者のための夜間中学は、平成28年の教育機会確保法により、外国籍の方や不登校生等にも門戸が開かれている。

兵庫県には、尼崎市の市立成良中学校琴城分校など3校の夜間中学があるほか、大阪府には本市からアクセスのいい場所に豊中市立第四中学校夜間学級があることから、学びの場の存在を入学希望者に広報する必要があると考える。そこで、夜間中学の周知方法を伺いたい。

答弁

これまで近隣の夜間中学には、本市在住者を負担金なしで受け入れてもらっていたが、本年4月からは、受け入れに伴う経費を応分負担する考え方のもと、琴城分校と覚書・協定書を締結し、広域受け入れの仕組みを整えたところである。

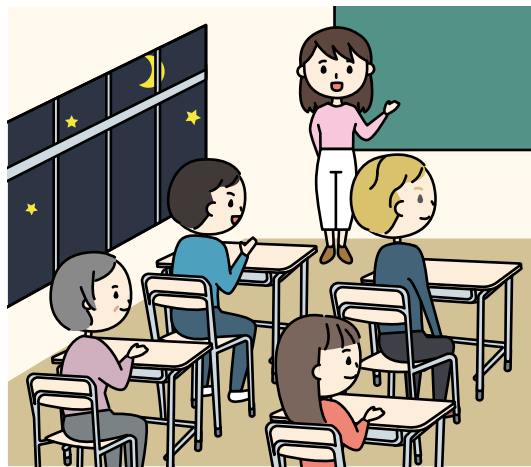
これを受けて、広報誌5月号に同校に入学可能となったことを掲載したほか、ホームページでは琴城分校の紹介や就学助成金等について案内するなど充実を図っている。今後は、SNSなどその他の媒体や、多言語による発信も検討して

いきたい。

なお、入学希望者には、琴城分校を優先的に紹介しているものの、当事者の事情により、豊中市立第四中学校についても情報提供する考えである。

その他の質問項目

○新型コロナウイルス接種にかかる今後について
ほか



生活環境

「ドラゴンランド河川敷」マナー向上を働きかけよ

明日のかわにし 小山 敏明

ドラゴンランド（阪神高速道路高架下）周辺の猪名川河川敷で

質問

は、バーベキューなど飲食の利用が盛んであり、コロナウイルス感染が懸念され

る。多くの利用者が、市が管理するドラゴンランド内の駐車場を利用すると考えるが、感染拡大が心配される河川敷での飲食への対応について、市の考え方を伺いたい。

また、同河川敷での深夜の打ち上げ花火について苦情が寄せられているが、本市には夜間花火を規制する条例がないため、警察も取り締まりが困難な状況と考える。そこで、これらの苦情の解決に向けた取り組みについて、市の考え方を伺いたい。

答弁

ドラゴンランド周辺の河川敷では、国により、相当数の啓発看板が設置されるなど、一定の効果が現れている。しかし、依然としてバーベキューをする利用者が見られるので、今後とも国と連携して対応していきたいと考えている。

また、夜間の迷惑花火は、バーベキューと同様、国が管理する河川敷で行われており、市としても、ドラゴンランド内に花火禁止の看板を設置するなどの対応を行っているが、大きな成果には至っていない。迷惑行為は、個人のモラルに起因しており、啓発に取り組みとともに、引き続き国に申し入れを行っていききたい。

その他の質問項目

○学校施設のカーボンニュートラル対応の取り組みについて
ほか

受理した陳情

- 保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書
- 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

加齢性難聴者の補聴器購入及び適切な利用に対する支援を求める意見書(要旨)

難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど、「生活の質」を落とす大きな要因となる。
わが国の難聴者率は欧米諸国と大差がないものの、補聴器の所有率は半分以下であることが民間の調査で明らかになっており、公的支援が手厚い欧米諸国に比べ、助成制度のない日本の対応は遅れていると指摘せざるを得ない。
また、補聴器の装着効果は、適切なカウンセリングに基づく機器の選択と聞こえに合わせたフィッティングにより得られるとされるが、日本では専門知識や技能を有する者のいない眼鏡販売店やインターネットで購入する人も多く、補聴器を所有しても「元の聞こえに戻らない」などの不満から、使わなくなる人が多いことも近年顕著になってきている。
よって、本市議会は、国の責任において、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するとともに、専門技能者の養成や販売員の資質向上など、補聴器の適切な利用のための環境整備に努めることを強く求める。

小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(要旨)

改正義務教育標準法が本年4月1日に施行され、小学校における学級編制の標準が学年進行により段階的に35人に引き下げられることとなったが、小学校でのさらなる少人数化や中学校での35人学級推進は、残念ながら実現していない。
子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業の準備、児童・生徒とのふれあいに十分な時間を確保することが必要であり、そのためには、加配による教職員の増員や、さらなる少人数学級の推進は不可欠である。
また、全国どこに住んでいても、子どもたちは等しく教育を受ける権利を有していることから、財政力の差異による教育格差が自治体間で生じないよう、豊かな学びの実現に向けた条件整備は、国の責任において行うべきである。
よって本市議会は、国が令和4年度の予算を編成するに当たり、中学校での35人学級の早急な実現と小学校におけるさらなる少人数学級の推進、教職員定数改善の着実な推進のほか、義務教育費国庫負担制度の堅持を強く要望する。

かわにし市議会からのお知らせ

●一般質問を行う本会議及び10月に開催される決算委員会の日は午前9時30分から始めます

一般質問及び決算委員会(10月のみ)を予定している日は、午前9時30分開議・開会となりますので、ご注意ください。
また、本会議のほかの議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議は当面の間、マスク着用やこまめな換気などの新型コロナウイルス対策を実施した上で開催することとしていますが、傍聴については、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急ぎよ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。市議会事務局へ直接お問い合わせください。

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程、会議録や議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在6月定例会及び7月臨時会の本会議の様子を録画配信しています。

本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。

| 9月定例会(予定) | | |
|-----------|---------|-----------|
| 8月26日(木) | 午前10時 | 本会議(招集日) |
| 9月2日(木) | 午前9時30分 | 本会議(一般質問) |
| 3日(金) | 〃 | 本会議(〃) |
| 6日(月) | 〃 | 本会議(〃) |
| 7日(火) | 午前10時 | 常任委員会 |
| 8日(水) | 〃 | 〃 |
| 9日(木) | 〃 | 〃 |
| 10日(金) | 〃 | 決算委員会 |
| 16日(木) | 〃 | 本会議(議案上程) |
| 24日(金) | 〃 | 本会議(最終日) |

| 閉会中の継続審査(予定) | | |
|--------------|---------|-------|
| 10月1日(金) | 午前9時30分 | 決算委員会 |
| 4日(月) | 〃 | 〃 |
| 5日(火) | 〃 | 〃 |
| 6日(水) | 〃 | 〃 |
| 7日(木) | 〃 | 〃 |

| 10月臨時会(予定) | | |
|------------|-------|----------|
| 10月26日(火) | 午前10時 | 本会議(招集日) |
| 27日(水) | 〃 | 本会議(最終日) |



| 広報委員会 | | |
|-------|-------|-------|
| 委員長 | 副委員長 | 委員 |
| 秋田 修一 | 田中 麻未 | 田中 寿美 |
| 松隈 紀文 | 麻田 成郷 | 吉岡 健次 |
| 中井 成郷 | 大坂 美佳 | 吉岡 秀明 |
| 矢根 秀明 | | |

東京オリンピックでの日本人選手の活躍は、開催することに対する不安を忘れさせてくれました。間もなく開幕するパラリンピックも無事開催され、日本人選手の活躍に期待したいと思えます。
このように、一歩ずつ日常が戻ってきていることを感じることもありますが、まだまだ予想を許しません。市議会も感染症対策を万全にしながら、熱い議論を交わしていきたいと思えます。もうしばらく、気を緩めることなくがんばりましょう。

今年も暑い季節がやってきましたが、マスクの要らない日常には戻っており、新型コロナウイルス感染症に対する不安が、なかなか拭えない状況が続いています。
ただ、川西市では、先日65歳以上の高齢者に対するワクチン接種がひと段落し、感染症終息に向けて一筋の光が差したと感じます。
これから、64歳以下の市民に対するワクチン接種が本格化し、職場や大学での取り組みも同時に進んでいくと、近い将来、親しい友人と会食したり、仲間と趣味に興じたりといった日常が戻ってくることに、つい思いをさせてしまっています。